

防犯カメラの設置で 安全・安心なまちづくり

区内では、ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、防犯カメラの設置が進められています。地域での防犯パトロールも活発に行われていますが、夜間や早朝など地域住民の目の行き届かない時間帯や場所もあります。こうした地域の見守りの補助として防犯カメラが活躍しています。

設置事例 岸根町町内会

昨年度、2か所に防犯カメラを設置しました。このうち1か所は、周囲に民家はなく、過去には不審者が出たこともあります。近隣の小学校では、安全性が確保できないことから遠回りをして通学していました。防犯カメラの設置によって、登校時、学校までの最短経路が通学路になりました。保護者からは「子どもたちにとって、より安心できる通学路となり感謝しています」と喜ばれています。



子どもも親も安心できる環境づくりに、防犯カメラが役立っています

岸根町町内会 浜田会長

設置事例 樽町連合町内会

樽町しょうぶ公園に隣接する樽町地域ケアプラザの外壁に、防犯カメラを1台設置しました。公園では、不審者の出没や置引などの被害がありました。子どもが安心して遊べる公園になるよう、防犯カメラ設置の効果が期待されています。



防犯カメラの存在をアピールし、犯罪の抑止につなげたいです

樽町連合町内会 小口会長



プライバシーへの配慮はどうなっているの？

©横浜市港北区ミズキー

自治会町内会ではプライバシー保護を目的に、次のような対応をしています。

- 防犯カメラ設置看板の表示
- 警察の依頼を受けたときのみの映像確認

区役所でも、自治会町内会からの運用相談に応じています。



防犯カメラ設置看板

全国初 民間団体が主体となって防犯カメラの設置を進めています

区内では、「港北区防犯カメラ設置合同委員会」によって、全国でも例のない、民間団体主導の防犯カメラ設置が進められています。この委員会は、「港北安心・安全コミュニティー創生協議会（区内の企業や個人などから広く協賛金を募り、補助金の交付など、防犯カメラ設置を促進する）」と「港北防犯協会（地域の防犯意識啓発や防犯活動を促進する）」によって組織されています。2018年4月までに24台の防犯カメラを設置し、2020年までに100台設置することを目標に活動しています。

防犯カメラ設置を1つの契機として、港北区を世界で一番安心で安全なまちにしましょう

防犯カメラを設置し、港北区を未来へつながら、安心して豊かに住み続けられ、魅力あるまちにします



港北安心・安全コミュニティー創生協議会 篠沢会長



港北区防犯カメラ設置合同委員会 晶山委員長



港北防犯協会 川島会長

港北区から犯罪がなくなり、安心・安全に過ごせるまちにできるよう協力して取り組んでいきます